

令和3年度児童・生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する 調査結果について

1 暴力 (単位は人)

	小学校				中学校			
	対教師	生徒間	対人	器物	対教師	生徒間	対人	器物
R 2	5,911	30,548	549	4,048	2,445	14,459	418	3,971
R 3	6,657	36,365	402	4,714	2,497	17,195	392	4,366

【区の傾向】

- ・暴力について、小中学校とも数件発生している。

【区の取組】

- ・1件1件学校に聞き取りを行い、対応策について協議して進めている。

2 いじめ

	いじめの認知件数	いじめの解消数	いじめの解消率
R 2 (小)	420,897人	326,085人	77.5%
R 3 (小)	500,562人	402,205人	80.4%
R 2 (中)	80,877人	62,226人	76.9%
R 3 (中)	97,937人	77,444人	79.1%

【区の傾向】

- ・いじめの解消率について、小学校は全国平均よりやや解消率が高かった。中学校のR2は全国平均より解消率が高かったものの、R3は全国平均よりやや低かった。

【区の対応】

- ・いじめの未然防止、早期発見、初期対応に向けて、SCによる全員面接(小5、中2)、学期始めの教育相談的な取組、年3回の豊島区いじめ実態調査・いじめに関する授業、6月、11月のふれあい月間の取組等を実践している。

豊島区教育委員会いじめ問題対策委員会

- ・いじめ問題を複雑化・深刻化していることで解決までに時間がかかるケースがある。関係機関と連携していじめを早期発見、解決するために、いじめの連携フレームをより使いやすいものに充実・発展させる検討をしている。

3 不登校

	不登校者数	不登校出現率	登校する又はできるようになった数	学校復帰率
R 2 (小)	63,350人	1%	17,596人	27.7%
R 3 (小)	81,498人	1.3%	22,119人	26.7%
R 2 (中)	132,777人	4.1%	37,288人	28.1%
R 3 (中)	163,442人	5%	45,925人	22.6%

【区の傾向】

- ・不登校出現率について、小学校では全国平均と差異はなかったが、中学校は全国平均よりやや高い傾向にあった。
- ・学校復帰率について、小学校のR 2は全国平均と差異はなかったが、R 3は全国平均より高くなった。中学校は、全国平均より低い傾向にあった。

【区の対応】

- ・学期始めの教育相談的な取組、SCによる全員面接（小5、中2）、年3回の豊島区不登校実態調査及び6月、11月のふれあい月間により、不登校の未然防止、早期発見、初期対応の取組等を実践している。
- ・5月に5日以上、9月に10日以上、1月に20日以上欠席をした児童・生徒数調査をし、不登校傾向のある児童・生徒の早期発見、早期対応に結び付けている。
- ・教育センターによる各校の不登校対策会議において、個の対応について検討をしている。

豊島区教育委員会不登校対策委員会

- ・不登校の要因が多様化・複雑化していることで発見が遅れたり、解決までに時間がかかったりするケースがある。関係機関と連携して不登校を早期発見、早期解決するために、いじめの連携フレームをより使いやすいものに充実・発展させる検討をしている。